**第4学年3組 国語科学習指導案**

**１　単元名・教材名**　調べたことを整理し、発表しよう

**２　本時の学習指導**（本時2/13時）

（１）目標

〇資料から考えを広げ、今後の活動の見通しを持てる。

（２）評価規準（1時間の授業に即した具体的なもの）

|  |
| --- |
| ア　関心・意欲・態度 |
| ① 学習の見通しをもち、進んで取り組もうとしている。  |

（３）展開(〇は指導上の留意点　　　　内は評価を表す)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 学習内容 | 指導と評価の創意工夫 | 時間 |
| １　前時の学習内容を振り返る。調べたいことについて考えよう。２　本時のめあてを確認する。２　資料「手と心で読む」を1人1人読む。３　資料「手と心で読む」について感想をまとめる。４　班で感想を共有する。５　気になったこと・調べたいと思ったことをノートに書きとめる。６　クラスで気になったこと・調べたいと思ったことを共有する。６　発表までの流れをつかむ。７　本時のまとめ | ・前時の復習・本時のめあて・正しく音読する。・感想のまとめ・感想の発表・発表を聞く姿勢　（メモを取りながら聞くこと）・関心の整理・関心の整理・発表の聞き方・発表までの流れ・本時のまとめ・次時の予告 | 〇本時の学習が前時の学習との繋がりをもっていることを意識して本時の活動が行えるように働きかける。〇本時は次時のテーマ決めにつながる「広げる時間」であることを意識するようにする。〇読む前にこのあと感想を書くことを伝えておき、気になったところには線を引きながら読んでもよいということを知らせる。〇音読・黙読どちらでもよい。〇読み終えた後、前時の学習との繋がりについて再度確認する。〇このあと班で共有することを伝え、1分程度で発表できるように準備するよう指示する。〇過不足なく班の人に伝わる声で発表するよう指示する。〇重要だと思うところや気になったところをメモしながら他の人の発表を聞くよう指示する。（机間指導による考察）（発表の様子からの考察）（ノートによる考察）他の人の発表をよく聞き、自分の関心を広げられていれば、「おおむね満足できる状況である」と判断できる。〇最低でも二つ以上は挙げるよう指示する。〇本文だけでなく、前時の学習も踏まえて、「誰もが関わり合えるように」という軸があれば基本的に何を挙げてもよいということを伝える。〇次回、より丁寧に考えるため、大まかなことでもよいということを伝える。〇なかなか思いつかないという場合も考えられるため、こちらで例示をする。※例）・目の不自由な人の役に立つ工夫にはどんなものがあるのか知りたい。　　 ・耳の不自由な人の役に立つ工夫にはどんなものがあるのか知りたい。・ルイ＝ブライユは、どんな人だったのか知りたい。〇メモを取りながら聞いてもよいことを確認する。　〇プリントを配付する。〇プリントはノートに貼るよう指示する。〇毎時間、今どの活動をしていて次にどの活動をするのか確認できるようにする。〇次回は課題を明確にすることを伝える。 | 1´1´5´7´7´8´6´3´2´ |

※短縮授業のため、授業時間は40分となっている。

|  |  |
| --- | --- |
| 次時の学習内容 | 今回挙げた気になったことをもとに課題を明確にする。 |

**３　備考**　在籍児童数　35名